

パシフィックパワー参画の「そうま I グリッド合同会社」が 相馬市のスマートコミュニティ事業で自営線による電力供給を開始

2018年4月7日

パシフィックコンサルタンツ株式会社が100%出資する子会社、パシフィックパワー株式会社（本社所在地：東京都千代田区、代表取締役社長：栗栖 達）は、福島県相馬市と株式会社 IHI が進める持続性のある地産地消型スマートコミュニティ事業において電気の小売事業を担う「そうま I グリッド合同会社」に、相馬市、株式会社 IHI とともに共同出資、参画しています。

そうま I グリッド合同会社は、一般の送電線を介して電気を売る小売電気事業に加えて、地域産の太陽光発電電力を相馬市の下水処理場、また、下水汚泥乾燥バイオ燃料製造施設、オープンイノベーションの水素研究施設などに自営線で送配電する特定送配電事業を行います。一般の送電線を介した小売電気事業については、2017年11月より電力供給をスタートしていましたが、このたび、2018年2月より特定送配電事業についても試験操業用の電力供給を開始し、更に、4月1日より本操業の電力供給をスタートしました。

本事業の特長は、太陽光発電の変化に応じて、水電解水素製造装置負荷・電気ボイラ負荷・大型蓄電池の充放電量・太陽光発電設備自体の発電量を制御する地産地消型エネルギーマネジメントシステムを導入している点にあります。このシステムにより、発電電力を一般送配電システムに送り込まなくても地域で消費することができ、今後予想される分散型再生可能エネルギーの大量導入時代の先進的な事業モデルとして広く応用が可能なものとなっています。

4月4日には、そうま I グリッド合同会社の地域エネルギーマネジメントシステム（CEMS）管理棟である「そうま IHI グリーンエネルギーセンター」の開所式を華々しく開催し、スマートコミュニティ事業の本格スタートを祝いました。

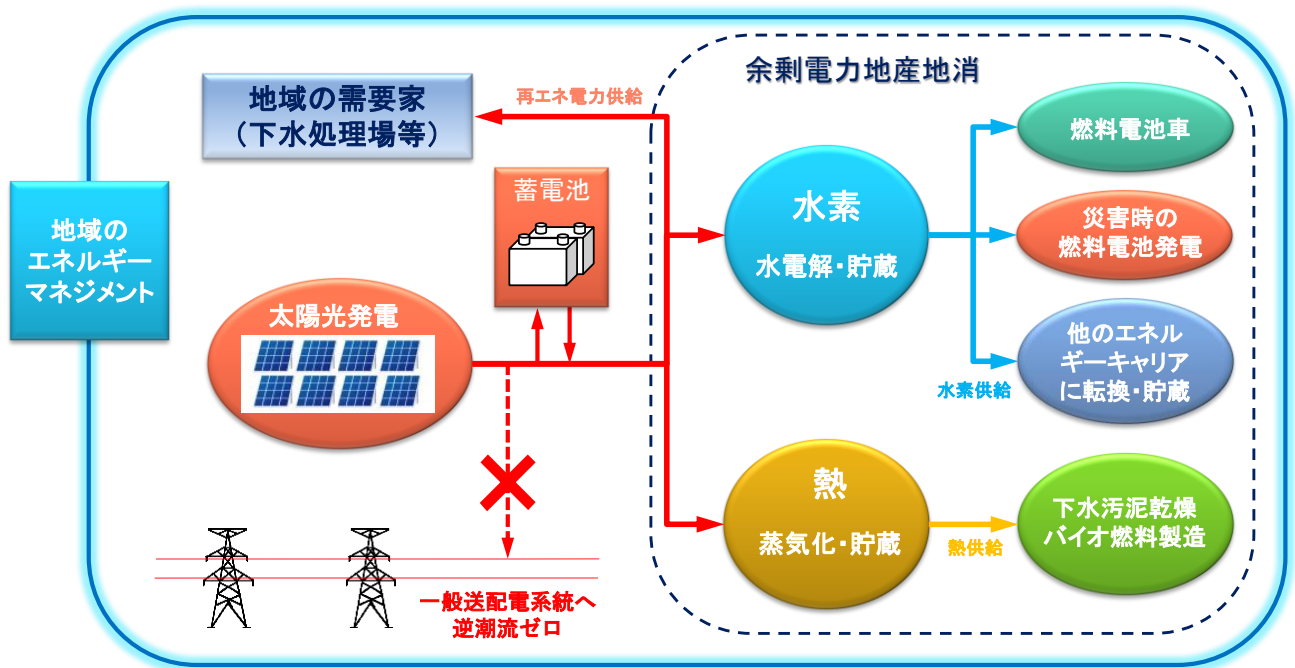
【参考リンク】

株式会社 IHI プレスリリース 2018年4月6日

[福島県相馬市において、持続性のある地産地消型スマートコミュニティ事業を開始 ～「水素を活用したCO2フリーの循環型地域社会創り」を实践～](#)

パシフィックパワー株式会社は、これまでに全国8地域において、自治体と地元企業等を共同出資者とする自治体新電力会社を設立してきました。設立した会社はそれぞれの地域で、電気の小売に止まらず、地域の課題に応じた地域マネジメント事業、地域振興事業に取り組んでいますが、このたびのスマートコミュニティ事業への参画は、自治体新電力会社の地域事業との組み合わせについて、また一つ新たな可能性を開いたものであり、今後の事業展開のモデルの一つとなるものです。

パシフィックパワーは、今後も、このような地域の新たな事業を具体的な形にするために日々新たなチャレンジに取り組んでまいります。



参考図 CO₂フリーのスマートコミュニティ事業モデル

【問い合わせ先】

パシフィックパワー株式会社 www.pacific-power.co.jp/index.html

住所：東京都千代田区神田錦町三丁目 22 番地（テラススクエア）

TEL：03-5244-5423

E-mail：pps@pacific-power.co.jp